

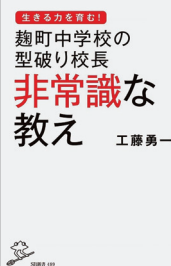


実際は「学力を高める」のではなく、やらされ感いっばいで、机に座らせることが目的になってしまうという。また、同校では、期末テストを廃止し、3階層のテストを実施している。この単元テストは点数に納得できなかったら、自己申告で再チャレンジができる。これによって、

宿題については、もともと子どもを入れたい」学校といわれている。同校は、親が「いま

著者は、千代田区立麹町中学校長として、宿題については「分かっていない生徒には無駄、生徒には無駄、分らない生徒には重荷」として、定期テストについては「ある時点での学力を切り取って評価することに意味はない」として、固定担任制については「学級担任が生徒に対して責任を持ち過ぎてしまい、生徒の自律を妨げる」として、それぞれ廃止した。同校は、親が「いま

麹町中学校の型破り校長 非常識な教え



工藤勇一 著
913円 SB新書
☎03-5549-1100

（前聖徳大学教授・西村美東士）
す。著者は「そのあまりのくだらなさにあきれてしまう」という。学校だけで通用させている「常識」が、社会的には「あまりにくだらないこと」でしかないという結果にならぬよう十分注意したいものだと思える。

子どもが必死に探し出すようになると教員が必死に探し出す。著者は「そのあまりのくだらなさにあきれてしまう」という。学校だけで通用させている「常識」が、社会的には「あまりにくだらないこと」でしかないという結果にならぬよう十分注意したいものだと思える。

子どもたちは比較対象が自分になり、わからないものをわかるようにしようと主体的に課題解決のサイクルを回し始めるという。しつけについては、叱る基準・しつけの優先順位を決めていけば、叱る頻度が減り、大人も子どもも不要なストレスを抱えなくてすむという。そして、